

2019年度の授業

受講者数は、約70人でした。人数にばらつきがあるものの、すべての学部から学生が参加していました。グループワークでは、6人あるいは5人で1つのグループをつくり12班に分けられました。



グループワークの様子

各グループは、次のような地域課題に取り組みました。

若者のやりたい仕事がない／待機児童／地域医療の問題点／高齢化による農業の衰退／人口減少によって衰退する伝統工芸品・伝統芸能／国の支援を受けられない準過疎地域の活性／離島の人口減少／ダム地域の環境整備・自然保全・地域活性化・アーティスト育成／香川県のインバウンドへの対応／香川県の観光客を増加させよう／地方の観光地の活性化

受講者の感想

- ◆ DRIについて学ぶ前と学んだ後ではプランが大きく違って、自分の成長を感じることができました。（教育学部1年生）
- ◆ DRIはこれからの地域社会の問題を解決するのに必要不可欠だと感じました。これから自分がそれらの問題を解決するにあたり、DRIを使っていきたいです。（法学部2年生）
- ◆ これからの人生でDRIの観点から物事を見ることができるようになったと思います。また、これからの時代、DRIの観点から考えるのは、とても重要なことであると実感しました。（医学部1年生）